

2010年2月20日(土)実施

2010年度 立命館大学大学院 経済学研究科 博士課程 後期課程(一般) 入学試験問題	
科目名	外国語「英語」 / 全6ページ
試験時間	9:30~10:50 / 80分

[解答上の注意]

- (1) 以下の問題を解答すること。
- (2) 解答は答案用紙を使用し、選択した問題番号・受験番号・氏名を明記すること。

問題. 下記(1)を必ず全訳せよ。さらに、(2)～(5)のうち2つを選択し、全訳せよ。

- (1) 次の文章は、日本的経営システムのなかでの、企業と従業員との関係について述べた一節である。

(次頁に続く)

(前頁からの続き)

(以下から抜粋。"Japanese Labour and Management in Transition" Mari Sako & Hiroshi Sato,
ROUTLEDGE)

(2) 次の文章は、イギリスのサッチャーの改革を労使関係に関わるものを中心に述べた一節である。

(以下から抜粋。"EMPLOYEE RELATIONS" Graham Hollinshead, Peter Nicholls, Stephanie Tailby, FINANCIAL TIMES Prentice Hall)

(3) 次の文章は、A.スミスの「Wealth of Nations」について解説された本のなかの一節である。

(以下から抜粋。"Smith's Wealth of Nations A BEGINNER'S GUIDE" MARTIN COHEN,
HODDER & Stoughton)

(4) 次の文章は、ハイエクの経済思想の特徴について述べたものの一節である。

(以下から抜粋。"The Economics of the Welfare State" Nicholas Barr, Oxford)

(5) 次の文章は、フェミニスト理論の特徴について述べた一節である。

(以下から抜粋。"EMPLOYEE RELATIONS" Graham Hollinshead, Peter Nicholls, Stephanie Tailby, FINANCIAL TIMES Prentice Hall)